

「ひきこもり当事者を支える家族の役割

～親はどう向き合い、支援者はどう支えるのか～

ひきこもり相談の多くは、ご家族の相談からスタートします。その相談をするまで、ご家族には葛藤、不安、孤独感など、様々な感情があったと思われます。また、やっと相談ができたとしても、そこからさらに時間がかかり、疲弊されるケースも少なくありません。

今回のひきこもり支援対応強化研修（基礎編）では、「家族」にスポットを当て、相談までのご家族の思い、相談後のご家族の変化、ご家族を支えるために支援者に求められることを考えてみたいと思います。研修の前半では、京都府脱ひきこもり支援センターの取り組みや、相談・支援事例などをお話しするとともに、ひきこもり当事者のご家族で、ひきこもりサポートスペースゆまほほ代表の岡田 洋之氏をお招きし、当事者を支えてこられた親の視点、支援者の立場からの視点、両側面からお話しいただき、家族の役割を考えてみたいと思います。また、研修の後半では、質疑応答、意見交換を行い、支援者の役割について考えてみたいと思います。

多くの方々にご参加いただき、ひきこもりの知識、理解を深めていきたいと考えています。

1. 日時・会場 【中丹会場】 令和5年10月30日（月）14時～16時
（舞鶴市） 西駅交流センター ホール
（舞鶴市字伊佐津213-8 JR西舞鶴駅）

【山城会場】 令和5年11月21日（火）14時～16時
（城陽市） 文化パルク城陽 東館4階 大会議室
（城陽市寺田今堀1 近鉄寺田駅徒歩約10分）

2. 内 容 【話題提供】

- 「京都府脱ひきこもり支援センターの取り組み」
京都府脱ひきこもり支援センター 主査 廣田 和之
- 「ひきこもり当事者家族が一步を踏み出すということ」
ひきこもりサポートスペースゆまほほ 代表 岡田 洋之氏

【質疑応答、意見交換】

- *パネラー
- ・岡田 洋之氏
- ・京都府脱ひきこもり支援センター

3. 対 象 市町村職員、民生児童委員、ひきこもりサポーター、京都府こころの健康推進員、ひきこもり支援に興味をお持ちの方、初期段階の相談を受けておられる方など

※お問い合わせは、京都府家庭支援総合センター

（京都府脱ひきこもり支援センター）まで

電話 （075）531-5255（9時～16時）

※裏面を御参照の上、電話、FAX、メール、URLまたはQRコードからお申込みください。